

<p>【イベント名】 第20回 ラテンアメリカテレカンファレンス</p>	<p>【概要】 今回は3つのトピックが取り上げられた。1点目はDr.八尾の胃がん症例の適切な提示法に関するもので、高品質な画像を提示し、微細な内視鏡所見がどの程度、組織学的な所見と関連しているかを示した。2点目はDr. Vargasが胃炎のステージングを複数の観点から論じたが、これは胃がんのリスクが高い地域において非常に重要である。3点目はDr. Ana María LeguizamoからNICEとJNETの結腸ポリープの分類について具体例と最近のエビデンスを元に報告した。</p>
<p>【期日】2019.10.03</p>	
<p>【会場】ボゴタ・ザビエル大学 (コロンビア), アレマナ病院 (チリ), チリ大学 (チリ), コスタ・リカ大学 (コスタリカ), コスタリカ ガストロクリニック (コスタリカ), カリ・ザビエル大学 (コロンビア), メキシコ国立医学・栄養センター (メキシコ), セルジペ連邦大学 (FUS) (ブラジル), ノッサ・セニョーラ・ダス・グラッサス病院 (ブラジル), サンタクルズ病院 (ブラジル), エドガルド レバグリアティ マーティンス国立病院 (ペルー), 日秘総合診療所 (ペルー), クィーンズ大学 (カナダ), チャンギ総合病院 (シンガポール), 大阪国際がんセンター (日本), 九州大学病院 (日本)</p>	
	
<p>モニタに映し出される接続施設。</p>	<p>チャンギ総合病院の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：チャンギ総合病院</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>九州大学病院の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>日秘総合診療所の様子。</p>	<p>クィーンズ大学の様子。</p>
<p>撮影場所：日秘総合診療所</p>	<p>撮影場所：クィーンズ大学</p>